

## 住民参加により維持管理を行います

維持管理計画に基づき、土地改良区を主体とした地域住民等の参加及び関係機関等との連携により、適正な維持管理を行うことが重要です。また、維持管理や環境学習の一環としてモニタリングを定期的・継続的に実施することが望ましい。

手引きP84「5.5モニタリング」参照  
手引き(第2編):ため池P 54「第5章維持管理」参照  
手引き(第2編):農 道P106「第5章維持管理」参照

### 老人クラブによる水路の清掃例



新潟県五泉市では、老人クラブが清掃活動や野鳥の巣箱の設置などを行っています。

### 高校生によるため池の清掃例



兵庫県H高校では、「渡り鳥を釣り糸から守ろう!」というクリーンキャンペーンを学校周辺のため池で実施しています。

### ボランティアによる道路沿いの植栽例



新潟県入道村では、道路修景美化条例を制定し、道路の美化と保護に努めており、地域住民がボランティアとして、維持管理を行っています。

### 環境学習によるモニタリング例



大阪府Y小学校では、関係機関との連携のもと、ため池環境づくりのワークショップ活動に取り組んでおり、ため池内に生息する生物を調査しています。

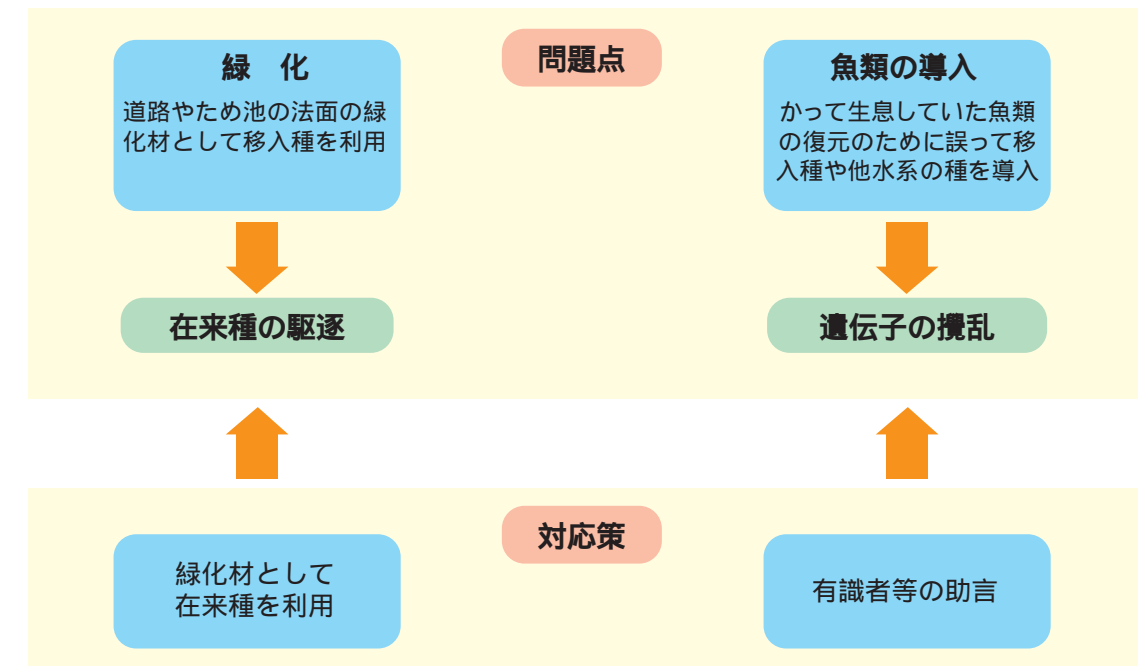
## 生態系に影響を与える移入種に留意します

### 1. 農業農村整備事業実施の際の留意点

事業実施にあたり、移入種に関しては問題発生を未然に防ぐための対応策が必要です。

手引き(第2編)P112~114「1.2農業農村整備事業における移入種への留意点」参照

#### 移入種に係る問題と対応策の例



#### 農村地域で見られる移入種の例



**タイリクバラタナゴ**  
ニッポンバラタナゴとの交雑によるニッポンバラタナゴの消滅、在来種との競争による在来種の駆逐が懸念されています。



**アライグマ**  
農作物に対する食害に加え、補食・競合による在来種への影響が懸念されています。



**スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)**  
食用として輸入されたものが野生化し、九州を中心とした関東以西の地域で水稻の食害被害が発生しています。



**セイヨウオオマルハナバチ**  
花や営巣場所を巡る競争等を通じて、在来のマルハナバチや野生植物の繁殖への悪影響が懸念されています。